

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2397400017
事業所名	グループホームいせ木

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	ホームの地域交流センターの開放や、地域ボランティアの来訪等で地域とつながって来たが、コロナ禍により、地域行事は中止、保育園との交流、ボランティア受け入れ等も中止になり、現在は再会を心待ちにしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	1月までは会議開催ができたが、その後は延期を余儀なくされている。今後は実施方法等を行政と検討して行く予定である。意見交換で聴取した意見や提案は、ホーム運営に活かしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市担当者の運営推進会議出席、随時の情報提供等で連携がある。昨今はコロナウイルス関係の情報提供が多く、ホームとしても対応と対策を話し合っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	コロナ禍において、3月から面会制限となっている。以前は面会も多く、運営推進会議に1～2家族が参加したりと、直接の意見聴取ができていた。現在も定期的なお便りの送付で情報発信し、意見を募っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○	○